

和歌山電鐵貴志川線 平成26年度実績

利用者は過去最高水準を維持、 開業10年目に突入

利用者数は過去最高水準の227万9千人

●利用実績

開業から9年目を終えた和歌山電鐵の26年度利用実績は、以下のとおりとなりました。

(注) 前期25年度は消費増税に伴う駆け込み需要により比較困難なため

	輸送人員	24年度比	
定期外	79万5千人	4万6千人増	106.1%
通勤定期	69万2千人	2万9千人増	104.4%
通学定期	79万2千人	3万8千人増	105.0%
合計	227万9千人	11万3千人増	105.2%

定期外については、香港、台湾を中心とした訪日外国人旅客数(団体申込人数)が前期比184.4%の4万3千人と、当期も大幅に増加したこと、そして「あと4回きっぷ」の発売や多くのイベント開催とともに沿線住民の利用啓発を進める「チャレンジ250万人」運動等により、開業以来2番目に高い水準となりました。

通勤定期・通学定期については、堅調を維持し、特に通学定期は開業以来最高の水準となりました。

25年からの「チャレンジ250万人」運動の目標達成には、依然として道半ば、といえますが、年間利用者数は227万9千人を記録しました。

●収支

運輸収入は、前期比100.8%の3億42百万円となり、第2の収益源であるグッズ販売とともに、開業以来最高の

数字となりました。

しかしながら、線路を中心とした老朽化設備の修繕へのコストも増やさざるを得ず、また電力料金値上げの影響も続き、増収と同程度の負担増となっています。

この結果、県工事の受託等の特殊要因を加え、経常損失は64百万円となりました。当期も赤字となりましたが、沿線地域の協力と経営努力により、引き続き和歌山市・紀の川市による運営補助金(上限82百万円)については、残余額を生んでいます。

●これから

28年2月には貴志川線開業100周年、4月には和歌山電鐵開業10周年を迎えますが、従来の自治体による運営補助の支援は、27年度が最終の年となります。

今後の支援の在り方については現在も協議が重ねられていますが、どのような形になるうとも、赤字運営からの脱却と早期の自立運営が、貴志川線永続に向けての最低条件です。

和歌山電鐵では、多くの老朽化施設で更新が必要になっていること、また今後の人口減少社会の到来や並行道路の整備により、依然として厳しい経営環境が予想されるものの、サービスや利便性の一層の向上を図り、沿線利用者の拡大と、国内外からの誘客に努めたい、としています。

これらの課題の克服には、公と民、行政と事業者との役割分担による上下分離方式の導入とともに、沿線住民によるさらなる利用の拡大が何としても不可欠であると、当会では考えています。

和歌山電鐵貴志川線 輸送人員の推移

(南海電鉄) ← | → (和歌山電鐵)

(単位:千人)

	49年度	7年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度(注)	26年度
定期外		1,017	636	716	766	800	769	758	721	749	769	795
対前年度比				113%	107%	104%	96%	99%	95%	104%	103%	103%
対17年度比			100%	113%	120%	126%	121%	119%	113%	118%	121%	125%
通勤定期		911	631	721	673	704	686	683	690	663	683	692
対前年度比				114%	93%	105%	97%	100%	101%	96%	103%	101%
対17年度比			100%	114%	107%	112%	109%	108%	109%	105%	108%	110%
通学定期		798	655	677	680	686	716	731	771	754	786	792
対前年度比				103%	100%	101%	104%	102%	105%	98%	104%	101%
対17年度比			100%	103%	104%	105%	109%	112%	118%	115%	120%	121%
合計	3,614	2,726	1,922	2,114	2,118	2,190	2,170	2,171	2,182	2,166	2,238	2,279
対前年度比				110%	100%	103%	99%	100%	101%	99%	103%	102%
対17年度比			100%	110%	110%	114%	113%	113%	114%	113%	116%	119%

(注) 25年度は消費増税(運賃改定)に伴う駆け込み需要60千人(うち定期外7、通勤定期12、通学定期41、各推定)を除く

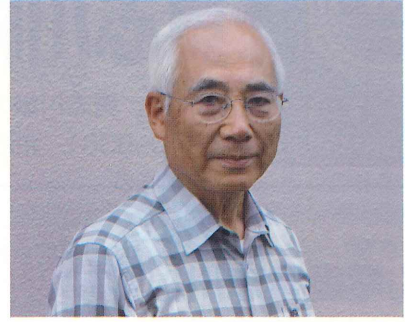
来年は、貴志川線開業100周年、和歌山電鐵開業10周年を迎えます!

代表から会員のみなさまへ

貴方の想いを行動に!

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫



平成18年4月1日に和歌山電鐵が運行を開始してから9年余り、10年目に入っています。「いちご電車やおもちゃ電車」・「たま駅長やたまステーション」など数々の話題を創り、外人客も含め乗客数は確実に増加してきています。しかし、地域の公共交通手段として、存続から永続へ発展させるためには残念ながらまだまだ乗客数は不足しています。今までも機会あるごとにお願いをしてきましたが、黒字化し安定的に経営していくためには年間250万人以上の乗客が必要です。そのために沿線住民の方々が現在のご利用以上に4回を超えるご乗車をお願いしてきているところです。

「貴志川線の未来を”つくる”会」も平成16年9月5日に「貴志川線」の存続を願って発足し、存続が決まった後は「わかやま電鉄貴志川線」の応援団として会員の皆様のご協力とご支援のもと

活動を続けてまいりました。その結果乗客数は上記のとおり10年前に比べ上昇傾向にあります。今後も貴志川線が永続し沿線住民の交通手段として確保され地域が活性化し、また和歌山電鐵が安定した経営で黒字になるような取り組みが求められます。

貴志川線は100周年(大正5年開通)、和歌山電鐵貴志川線は10周年の節目を迎えるこのとき、『貴志川線の未来を”つくる”会』の活動も重要な局面をむかえます。当会の活動を強化していく必要がありますが、そのためには人材が不足しています。貴志川線と地域の活性化のために、私たちと一緒に活動してくれませんか。皆様のお力を是非お貸し下さい。

『貴方の想いを行動に!』
定例会 月2回(第2, 第4土曜日)開催

平成27年度(2015年)役員名簿

(平成27年4月11日第1回定例会確認)

役職	名前	役職	名前
代表	濱口 晃夫	幹事	山下 日出子
副代表	奥 重 視	//	梶 本 祥 子
//	木 村 幹 生	//	西 本 哲 夫
事務局 長	奥 山 和 生	//	川 口 昌 宏
事務局 次 長	奥 重 貴	//	稲 置 佳 広
//	堀 内 健 作	//	織 田 元 宏
//	川 村 記 義	//	森 山 正 雄
//	富 高 彰	//	藤 田 宗 治
会 計 幹 事	堀 瑛 瑛	//	山 本 滋 子
//	杉 林 雅 義	//	次 田 尚 弘
//	中 西 由 子	//	宮 脇 正 好
//	小 山 裕 史	//	鳥 淵 朋 子
//	吉 本 昌 純	監 査	山 本 好 延
//	岩 垣 勉	//	中 西 充 子

27年度 新規継続 入会募集中です

貴志川線の未来を
“つくる”会

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。
27年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会 費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2016年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祈曾558 伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月2日(木)、3日(金)、4日(土)15:00~19:30

住民の心をつないで10周年

「貴志川線を未来につなぐ集い・シンポジウム」に300人



パネルディスカッションでは、永続に向け活発な議論が行われました



「貴志川コーラス」の皆様の歌声が、集い・シンポジウムに花を添えてくださいました

10年を振り返り決意を新たに

平成27年2月22日、貴志川線の未来をつくる会は結成10周年記念行事「貴志川線を未来につなぐ集い・シンポジウム」を紀の川市の西貴志コミュニティセンターで開催。会員、沿線住民など300名が参加し10年の活動を振り返るとともに、永続に向けて運動を進める決意を新たにしました。

小嶋光信和歌山電鐵社長による特別講演「貴志川線を孫の代まで残す経営戦略」では貴志川線の再生スキームが交通政策基本法の基礎となっていることを紹介。続いて和歌山大学地域連携・生涯学習センター講師の西川一弘さんによる、「地域交通再生とまちづくり」と題した基調講演が行われました。

パネルディスカッションでは、山東まちづくり会の吉田泰士事務局長、瀧口代表がパネリストに加わり、瀧口代表は「つくる会の課題は若返りにある。まちづくりと結び沿線を活性化させ永続させたい」と、課題と目標を明らかにしました。

また、地元で活躍されている「貴志川コーラス」が応援に駆け付け、34名が楽曲を披露。会場は多いに盛り上がりました。他にも、会発足前後のビラやポスターを中心とした資料展示「10年の歩み展」を行いました。

結成10年を
祝い

和歌山電鐵から感謝状 つくる会から座席モケット(2両)贈る

26年11月3日開催の「第8回貴志川線祭り」において、和歌山電鐵小嶋社長から「つくる会は貴志川線にとってなくてはならない存在、10周年にお祝いと感謝の意を表します」と瀧口代表に感謝状をいただきました。

つくる会からは、結成10周年を記念して会員の総意として、車輦1編成2両分の「座席モケットシート」を贈りました。

座席モケット寄贈

結成10周年記念

「貴志川線の未来を“つくる”会」

2014年7月



6月



第7回貴志川線に乗って
じゃがいも掘り(6月8日)

446人
参加

7月



貴志川線に乗って
ブルーベリー狩り(7月28日)

69人
参加

9月



枺酒列車in貴志川線
(9月23日)

11月



第8回貴志川線祭り
(11月3日)

来場者
4,000人

12月



JAZZトレインin 貴志川線
(11月9日)

33人
参加



第3回駅からウォーク
ハイキング(12月1日)

3月



大池遊園駅清掃・桜まつり準備
(3月21日)

4月



第3回大池遊園桜まつり
(4月5日)



第10回貴志川線に乗って
たけのこ掘り(5月11日)

海外客 インタビュー

外国人観光客(団体乗車)が 4万3千人に!

(平成26年度実績
和歌山電鐵公表)

貴志川線を訪れた
外国人観光客の方々からの声



「貴志駅がネコをイメージしたデザインになっていて、面白かった」「色々な種類の電車があり、趣向を凝らした鉄道だと感心した」「駅でWi-Fiが使えて便利だった」などの感想、「ネコの駅長さんご苦労様」というメッセージに加え、「沿線の観光地やイベント、祭りの映像を駅で見られるようにしては」などの提言も頂きました。

要望が 実現しました

デジタル
液晶ディスプレイ、貴志駅
用開始され
「その次」の

行き先、使用車両を日本語と英語で交互に案内

乗り心地がよくなりました

26年度中に、日前宮～神前間230m、貴志川線
150mで道床、枕木、レール交換が行われ、乗り

山東郵便局前に交通信号設置

イベント開催時の安全確保のため、伊太祁豆
県道交差点に交通信号機設置を貴志川線運営
しましたが、行政、地元自治会のご協力です
されています。

つくる会活動日誌 (抄)

10月



27人参加

貴志川線



わかやま商工祭り参加
(10月11日・12日)

2月



12月から2月
3コース
111人参加



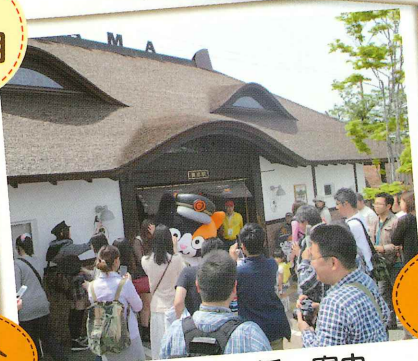
貴志川線を未来に
つなぐ集い(2月22日)

300人参加

5月



320人参加



貴志駅GW応援・案内
(5月3~6日)

お盆にも
行っています!

発車時刻表設置

ディスプレイが和歌山駅に2基設置され3月から使われています。「次発」「次々発」電車について、発車時刻、内表示します。



龍山~交通センター前間
乗り心地が改善されました。

3号駅近くの山東郵便局前
貴志線運営委員会に提起し要望して
設置され、3月から供用開始



2014年 (平成26年)

- 5月 15木 26年度第2回貴志川線運営委員会 以降月1回12回開催
- 24土 26年度第4回定例会 以降月2回年度内23回開催
- 28水 伊太祈首駅塗替え応援
- 6月 7土 ジャがいも掘り会場 準備作業 (18人)
- 8日 第7回「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(来場者446人)
- 21土 会報、会費納入お願い文書発送作業 (56人)
- 7月 3木 ~5土 和歌山駅9番ホームで会費受付(延べ12人) 入会75人
- 17木 登録有形文化財プレート除幕式
- 26土 ぶらくり丁キッズ商店街ミニトレ運転応援 (5人)
- 西貴志コミセン出店・グッズ販売 (5人)
- 27日 イズミヤ川辺店出店・グッズ販売、展示 (4人)
- 28月 貴志川線に乗ってブルーベリー狩り・PART1 (参加者36人)
- 8月 2土 貴志川線に乗ってブルーベリー狩り・PART2 (参加者33人)
- 14木 ~16土 貴志駅夏季繁忙応援(延べ11人)
- 20水 共育支援メニューフェア・展示 (3人)
- 23土 長山団地夏祭り・グッズ販売、入会受付 (4人)
- 9月 13土 三菱電機「黒潮祭り」出店・グッズ販売、ちらし配布 (3人)
- 20土 イズミヤ川辺店出店・グッズ販売、展示 (5人)
- 23火 柗酒列車 in 貴志川線 (参加者27人)
- 27土 四季の郷公園「ふれあい祭り」応援 (2人)
- 10月 5日 貴志川「西貴志コミセンまつり」・グッズ販売、展示、入会 (4人)
- 11土 ~12日 「わかやま商工祭り」・ミニトレ、グッズ販売、入会 (16人)
- 20月 貴志川線祭り協力要請 和市東部第5B支所・出張所訪問
- 23木 貴志川町内幼稚園、保育所貴志川線祭りポスター・ちらし配布
- 25土 第35回「労福協まつり」ミニトレ運転応援 (4人)
- 11月 2日 第8回「貴志川線祭り」準備作業 (13人)
- 3月 第8回「貴志川線祭り」(来場者4,000人)、(S87人)
- 9日 「JAZZトレイン in 貴志川線」(参加者33人)
- 20木 磯野専務との意見交換会
- 12月 7日 貴志駅イルミネーション取り付け作業、点灯式 (13人)
- 13土 第4回駅からウォーク 第1コース (参加者28人)、(S7人)
- 20土 クリスマス電車プレゼント袋詰め作業 (11人)
- 21日 クリスマス電車運転応援(応募491人) (S12人)
- 23火 門松製作、伊太祈首駅に設置 (4人)

2015年 (平成27年)

- 1月 4日 たま駅長就任8周年記念式典
- 10土 貴志駅イルミネーション撤去作業 (10人)
- 17土 第4回駅からウォーク第2コース (参加者47人)、(S14人)
- 27火 会費納入再要請文書発送作業 (5人)
- 2月 14土 第4回駅からウォーク第3コース (参加者36人)、(S2人)
- 15日 ジャがいも種芋植付け作業 (参加者6人)
- 22日 貴志川線を未来につなぐ集い・シンポジウム(300人)、(S37人)
- 3月 1日 「絵手紙電車」準備 台紙貼付け作業 (14人)
- 12木 「いちご電車でいちご狩り」応援
- 21土 大池遊園駅清掃、桜まつり飾り付け (参加者13人)
- 22日 イズミヤ川永店出張 利用促進 PR、グッズ販売 (3人参加)
- 26木 たけのこ掘り、桜まつりちらしポスティング (8人参加)
- 4月 5日 第3回大池遊園桜まつり、春み一つけたハイキング
- 6月 四季の郷公園関係者連絡会議
- 11土 第10回たけのこ掘り(会員の部) (参加者112人)、(S8人)
- 18土 第10回たけのこ掘り(一般の部) (参加者79人)、(S6人)
- 19日 ジャがいも掘り準備 草引き 9人参加
- 26日 第10回たけのこ掘り(一般の部) (参加者129人)、(S10人)
- 29水 和歌山県中央メーデー ミニトレ運転、グッズ販売
- 5月 3日 ~6水 貴志駅GW多客期応援(延べ13人)
- 10日 「絵手紙電車」撤収作業 (7人)
- 18月 ジャがいも掘り協力要請 和市東部第5B支所、幼・保訪問

貴志川線の未来を“つくる”会 平成27年度(2015年) 活動計画

～次の10年に向け結成の原点に帰り活動を続けます～

貴志川線の未来をつくる会は昨年結成10周年を迎えました。今年度は貴志川線開業100周年、和歌山電鐵開業10周年を迎える記念の年となります。この記念の年に当たり、廃線の危機という厳しい状況の中で存続に取り組んだ結成の原点に帰り、貴志川線を応援するボランティア団体として住民の熱意と行動を集め、貴志川線の永続を確実にするため活動します。

I. 基本方針

地域の財産、住民の足のみならず、和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の永続を確かなものとするため、乗車人員250万人の実現による自立経営の確立に向けて、まちづくりの活動と結び、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。

II. 貴志川線の現状と課題

貴志川線の平成26年度利用者数は、227万9千人となり、昨年に続き、和歌山電鐵の開業以来、過去最高水準となりました。この好成績の要因は、海外からの来訪者のさらなる増加、通勤・通学定期の堅調、そして「あと4回きつぷ」の発売や多くのイベント開催とともに沿線住民の利用啓発を進める「チャレンジ250万人」運動が一定の成果をあげた結果と言えます。しかし、自立運営に必要な利用者数を目標して取り組んでいる「チャレンジ250万人」運動の目標達成率は、91.0%という結果となっています。運輸収入は、前期比100.8%の3億42百万円となり、第2の収益源であるグッズ販売とともに過去最高の数字となったものの、老朽化設備の修繕費増や電力料金値上げの影響も続いた結果、県工事の受託等の特殊要因を加えた経常損失は64百万円となりました。当期も赤字となりましたが、沿線地域の協力と経営努力により、引き続き和歌山市・紀の川市による運営補助金(上限82百万円)については残余額を生んでいます。そして27年度、開業から10年目を迎え、従来の自治体による運営補助金の支援は、最後の年となります。今後の支援については、現在も協議が重ねられていますが、どのような形になろうとも、開業以来続く赤字運営からの脱却が貴志川線永続の最低条件です。早期の自立運営が実現できなければ、民間企業である限り、再び廃線の危機を迎えることになります。この克服には、公と民、行政と事業者の役割分担とあわせて、観光客の誘致のみならず、沿線住民による、さらなる利用の拡大が何としても不可欠です。

III. 重点目標

- (1) 自立経営へ輸送人員250万人の実現を目指します
 - ①「チャレンジ250万人」運動を継続して実施します
 - ②沿線住民の貴志川線利用促進に取り組めます
 - ② 行政の支援が引き続き実施されるよう取り組みます
 - ②最終的に完全な上下分離による運営を目指します
 - ①関係機関への要望、要請行動に取り組みます
 - ②電鐵や関係機関に実現を求め提言していきます
 - (3) 快適・便利で利用しやすい貴志川線を目指します
 - ① 駅設備、ダイヤ、サービスなど要望集約を行います
 - ② 日前宮～神前駅間に新駅の設置、
 - ③ 岡崎前駅キス&ライド駐車場設置と神前駅駐輪場増設
 - ④ 駅トイレの改善、新設、甘露寺前駅ホーム防風柵設置

IV. 具体的な取り組み

- (1) 住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
 - ① 会員3,000名以上を目標に入会呼びかけを行います
 - ② 意見交換の地区懇談会開催を和歌山電鐵と協力して努力します
 - ③ 地域活性化の活動を進める皆さんとの協働行動に取り組みます
 - ④ 「定例会」に参加しやすくするため開催時間の変更を行います
第2土曜日は13時30分、第4土曜日は19時とします
 - ⑤ ボランティアスタッフへの登録と、活動への参加を進めます
 - ⑥ 会員限定イベントを開催いたします
 - ⑦ HP・貴志川線ニュース・会報など広報・宣伝活動に取り組みます
- (2) 利用促進と“日本一こころ豊かなローカル線”づくりに取り組みます
 - ① 貴志川線開業100周年行事に和歌山電鐵と協働して取り組みます
 - ② 「チャレンジ250万運動」啓蒙と「あと4回きつぷ」購入に取り組みます
 - ③ 利用促進へ和歌山電鐵と協働、協力して各種イベントを開催します
 - ④ 大池遊園に賑わいを取り戻すため「大池遊園桜まつり」を開催します
 - ⑤ 「第10回貴志川線祭り」を開催します、開催日程固定化を検討します
 - ⑥ 観光資源を活かした駅名への変更を検討します
 - ⑦ 駅美化へ各駅のペンキ塗り、清掃、花壇設置などを行います
 - ⑧ 電手に手を振る運動と駅や車内で親切な案内に取り組みます
 - ⑨ わかやま国体・大会(2015年)、貴志川線100周年(2016年)を利用者増に結びつける取り組みを行います
 - ⑩ 楽しい貴志川線へ、沿線と駅の景観づくり(一駅一名物)に取り組みます
 - ⑪ 海外からのお客様に思い出を持って帰っていただく取り組みを行います
 - ⑫ 利用者の2/3を占める通勤・通学のお客様への感謝デーを実施します
- (3) 地方交通の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます
 - ① 学習会、シンポジウム、ワークショップなどの開催、参加に取り組みます
 - ② 地方鉄道活性化に取り組む諸団体との交流、協働に取り組みます
 - ③ 公共交通維持強化の政策学習と資料の収集、活用に取り組みます

2015年6月～2016年5月 年間スケジュール

6月	貴志川線に乗ってじゃがいも掘り 会報と会費納入依頼発送
7月	和歌山駅ホームで会費受付 ぶらくり丁キッズ商店街 出店
8月	夏休み貴志川線電車教室 貴志駅お盆多客応援
9月	「黒潮祭り」出店、利用啓発 コミセンまつり(旧貴志川町) 出店
10月	労働者福祉まつり 出店 第9回貴志川線祭り
11月	わかやま商工まつり 出店 貴志駅イルミネーション
12月	クリスマス電車 迎春準備 門松製作
1月	駅からウォーク&ハイキング たま駅長就任記念催事
2月	駅からウォーク&ハイキング 絵手紙電車 じゃがいも掘り植付け作業 貴志川線開業100周年
3月	いちご電車でいちご狩り 和歌山電鐵開業10周年
4月	大池遊園「桜まつり」 和歌山県中央メーデー 出店
5月	貴志川線に乗ってたけのこ掘り 貴志駅GW応援

※事情により変更される場合があります。

平成26年度
(2014年)

貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2014年4月1日～2015年3月31日

平成26年度(2014年)は2,156名のご入会をいただきました。ありがとうございます。

平成26年度(2014年)会計決算についてご報告いたします【27年度第2回定例会承認(2015年4月25日)】

- 収入は、会員2,156名の会費と、前年度繰越金および寄付金、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売り上げ、預金利息等で収入総額は363万1,537円となりました。
- 支出は、「貴志川線祭り」はじめ利用促進各イベントの開催、「たけのご掘り」と「じゃがいも掘り」の会員限定設定と、通信費、事務費などに、節減を旨に取り組み支出総額は278万5,385円となりました。
- 繰越金の処理について 次年度繰越金84万6,152円は全額次期一般会計に充当いたします。
- 「貴志川線整備基金」について、貴志川線の施設、車両の老朽化に備えて2007年(平成19年)から積み立てています。今年度つくる会結成10周年記念として定期預金100万円を取り崩し、1編成2両の車輛モケット取替え費用96万1,200円を寄贈し、利息含む残額45,141円は一般会計に繰入れました。
- 「ニュース和歌山25周年記念助成金」について ニュース和歌山社から2008年(平成20年)3月12日に寄贈いただいたものです。今年度は「つくる会結成10周年記念の集い・シンポジウム」、「結成10周年記念誌」の製作はじめ記念行事に40万5,487円を支出しました。

一般会計

「基金」および「特別会計」

平成26年度(2014年)決算報告

〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	932,004	2013年度繰越金(会費預かり金5,000円含む)
会費	2,156,000	2014年度会員 @1,000円×2,156名
雑収入	498,392	寄付金(180名様)、グッズ販売手数料、貴志川線祭り売り上げ、普通預金利息等
定期預金振替	45,141	整備基金から座席モケット寄贈のため100万円取崩した残額
合計	3,631,537	

〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	742,680	郵送料金(会費納入、年賀状、貴志川線祭り、会員限定イベント案内印刷物)、各種文書メール便料金等
郵便振込料	152,960	会費の郵便振込料(つくる会負担) 1,265名分
事業費	1,405,825	貴志川線祭り、たけのご掘り、じゃがいも掘り、桜まつり、絵手紙電車等各種イベント開催経費、駅美化等
広告宣伝費	130,140	チャレンジ250万のぼり、会員募集(振込票付き)リーフレット等
事務費	233,760	役員会会場・倉庫使用料、各種文具事務用品、コピー使用料、ホームページ費用、封筒製作等
交通費	119,020	イベント38件、スタッフ延べ210名の交通費実費
預かり会費	1,000	本年度会費に1名分充当
合計	2,785,385	

〈決算内容〉

収入	3,631,537	
支出	2,785,385	
次年度繰越金	846,152	(H24～H30年度会費預かり金4,000円含む)

〈繰越金内訳〉

普通預金	723,550	(紀陽銀行国体道路支店)
現金	122,602	
合計	846,152	

会計監査報告

2015年4月24日

貴志川線の未来を“つくる”会
代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好延

監事 中西亮子

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項に
もつづき2014年度(平成26年度)会計監査を実施
したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2015年4月24日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2014年度会計
4. 監査期間 2014年4月1日～2015年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

〈基金内訳〉(貴志川線整備基金)

定期預金	1,509,695	(紀陽銀行国体道路支店)
------	-----------	--------------

科目(収入の部)	金額	科目(支出の部)	金額
前期繰越	2,515,656	座席モケット	961,200
利息(2回)	380	普通預金へ振替	45,141
合計	2,516,036	合計	1,006,341

〈特別会計内訳〉(ニュース和歌山25周年記念助成金)

普通預金	345,835	(ゆうちょ銀行和歌山友田郵便局)
------	---------	------------------

科目(収入の部)	金額	科目(支出の部)	金額
前期繰越	751,142	10周年記念行事費	405,487
利息	180		
合計	751,322	合計	405,487

ひろば

会員、ご利用の皆さまからのお便りをご紹介します。



マイカー通勤やめました

突然ですが、マイカー通勤やめました！やめてどうした？勿論、貴志川線通勤です。

「明日から電車通勤にしてください！」って、とある方から背中を押されたのがきっかけです。お恥ずかしい話ですが、ず〜っと電車通勤ができる環境でした。でも車が便利で、ず〜っとマイカー通勤でした。人生初めて3月から電車通勤。なかなかいいものです。帰宅時の不便さは今でも感じているのですが、まずは健康的なこと。歩く時間が増えました。スマホでニュースも本も読める。歩いたり公共交通機関を使うことにより、まちを見る視点も少し変わりました。とにかく新しい発見が一杯です。これで健康的な老後が送れそうです。そして沿線住民として「貴志川線使ってよ」って、みなさんに堂々とお話できます。

吉田 泰土さん(和歌山市木枕)



「ヨイショ〜ッ！」持ちなねないトシガを振り下ろす。

昨年タケノコ掘りを初体験しました。四季の郷にタケノコが生えてるなんてマツタク知りませんでした。

掘ったタケノコは小ぶりの物が多かったけど、帰りの事も考えずイッパイ掘りました。

今年も5月初旬、味を占めてブランド名(山東のタケノコ)掘りに挑戦！

雨上がりの山は掘り易く、大物狙いで直径約30センチ位の物をゲット！昨年の経験を見捨ててまたイッパイ掘ってしまいました。(重かったア)その夜早速皮むきをし、今年初めての新鮮な旬のタケノコをこれでもか？というほど戴きました。

さしみで戴くと、これまたほんまに“柔らか〜くて”“おいしい〜！”晩酌の一杯が二杯・三杯と進んだのは云うまでもありません。さあ、次は6月のジャガイモ掘り！大収穫を目指して、がんばるド〜！しかし歳を考えないと…足腰が痛ててエ〜！

黒田 和雄さん(和歌山市市小路)



やっぱりたまちゃんでした

私は貴志川線が大好きです。毎日通学で乗っていますが、今日はたまちゃん電車かな、おもちゃ電車かな、普通電車かな…

毎朝楽しみにしています。

最近の貴志川線は外国の方が乗っていることが珍しくなくて、特に土曜日の車中は、多くの外国人旅行者と一緒にいることがあります。みなさん気さくに話しかけてくれたり、かわいい電車の中や自然いっぱいあふれる風景などを楽しそうに写真におさめたりしています。

外国からわざわざ来ていただいた方にも、たまちゃんはちゃんとおもてなしできるんだからすごいです。

私も紀の川市で一番の有名な、いや有名な猫の「たまちゃん」と貴志川線がずっと残るように頑張りたいです。

中学1年生 中村 公香さん(紀の川市貴志川町)



そうだ絶対、孫をつれてこよう

時折の報道で「たま駅長」が世界の人にも愛され、なお健在とか。「たま」に会いたくて退職者の恒例遠足で貴志川線に乗りました。若い鉄道社員のガイドで車庫へ。電車がこんなに大きいとは。つくる会の方からは地域の人の力で鉄道が守られた事を熱心に話され、つくる

会と会社との連携、次世代へのつながりを強く感じ、よかったなあと率直に思いました。

さて、たまはお昼寝らしくたまに寝返る姿にシャッターを。行き帰りの電車は木の温もりがあって、アットホーム。車体に描かれた、ひょうきんなたま電車は、乗って楽しい。降りた人が、必ず手を振って送る姿に感激。

そうだ絶対、孫をつれてこよう。電車好きな男の子、猫好きな女の子が喜ぶ顔、はしゃぐ顔が浮かびます。一日券で途中下車できて、平池公園で自然の風に吹かれるのも快い。スピードばかりを追う時代に、心豊かになるローカル線の良さを実感。そして、「未来をつくる会」に多くの人の知恵が集まりますように願っています。「たま」「ニタマ」がんばれ！

中野 純子さん(大阪府堺市)



ボランティアスタッフ募集しています！

貴志川線の未来をつくる会は、貴志川線の応援団として持続を目指して様々な取り組みを行っています。その活動に参加して下さるボランティアスタッフを募集しています。

ご協力頂ける方は、お送りしております27年度会費振込票のボランティアスタッフの登録を「希望します」に○印をお付け下さい。

(活動内容) 駅の清掃、イベント、駅での案内・整理、駅プランター散水・花づくり、郵便物発送作業、情報発信(ポスター、ちらし作成)等



●定例会のご案内●

定例会は月2回(第2土曜日13時30分・第4土曜日19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

☎0736-64-6866 代表 濱口 晃夫まで

チャレンジ
250万人

あなたの乗車が貴志川線の
持続につながります！



あと4回
多く乗って
持続させよう!!